日本産業技術史学会2015年度第1回理事会議事録

日時：2015年6月12日（金）　17：00　～　19:00

場所：岡山商科大学本館小会議室

出席者：堀尾尚志、田中一郎、三宅宏司、藤原惠洋、天野雅敏、廣田義人、大石道義

委任状：後藤邦夫、種田明、高松亨、鈴木淳、橋本毅彦、山田大隆、中村尚史、安田孝

審議事項

1.　2014年度事業報告(案)ならびに決算報告(案)

廣田理事より、資料に基づいて、2014年度事業報告案ならびに決算報告案について説明があり、了承した。

2.　2015年度事業計画(案)ならびに予算(案)

廣田理事より、資料に基づいて、2015年度事業計画案ならびに予算案について説明があり、了承した。事業計画に関して、関東地区または九州地区でのシンポジウム開催ないし九州産業技術史学会の活動支援について提案があり、経費は予備費から支出することとした。廣田理事から賛助会員である竹中大工道具館から退会の申し出があったとの報告があり、麓理事から翻意を求めてもらうこととした(註: 後日、麓理事が連絡を取り退会は取り消された)。また、藤原理事から九州地区で賛助会員を募集するとの表明があった。

3.　総会次第について

堀尾会長から総会資料の配布があり、確認した。

4.　Webジャーナルの開設について

堀尾会長から、資料に基づいてこれまでの経緯とWebジャーナルの概要について説明があった。廣田理事から会誌をこれまで通り年2回刊行し続ける場合、10年で繰越金を使い果たすか、もしくは50名の会員純増が必要であるとの説明があった。

意見交換で次のような意見が出た。

・2016年度までは2冊刊行できるのではないか。

・1冊をWebジャーナルとしても、年2回会誌刊行の約束は果たしたことになるのではないか。

・Webジャーナル化は既定方針である。

・投稿者の業績になるよう、フルペーパーではなくとも、ショートペーパー並みの体裁が必要で、○○論文とするなど配慮する。

・Webジャーナルと財政危機は別の次元のことであって、同列に扱うべきでない。

・査読が厳しすぎるとの意見を持つ投稿者はWebジャーナルに投稿してもらう。

・これまで投稿者に定期刊行されないことを危惧する向きがあった。

・Webジャーナルではカラーを使えるので投稿したい。

・古い会誌はPDFでホームページに掲載してはどうかと思うが、思文閣との相談が必要。

・院生を指導している会員に投稿を促してもらうべきである。

・産業技術史を研究テーマとする院生は常にいるわけではない。

報告事項

1.　2015年度年の開催について

天野理事から年会の次第について説明があった。

2.　第28回学会賞選考結果について

高松学会賞選考委員長が病気欠席のため、代わりに堀尾会長から、審議未了とし、推薦者には委員長から説明するとの報告があった。

3.　本会運営の状況（財務、会員の動向等）について

廣田理事から、資料に基づいて、会費納入の状況、会員数の動向について、報告があった。

4.　2016年度(第32回)年・総会の開催について

堀尾会長から、大阪市立大学の田口直樹会員が開催を承諾済みとの報告があった。

5.　会誌編集の状況及び今後の刊行について

田中編集委員長より、20巻1号の原稿は掲載可1件、修正中1件、再投稿1件となっており、再投稿分の掲載は無理かと思われるが、書評の執筆をお願いするので、それを含めて刊行したいとの報告があった。